

明舞中央病院 神経内科の診療強化へ

廣告



このたび、明舞中央病院では2025年6月より、神経内科へ高岡賢医師が常勤医として新たに赴任しました。これにより、当院の脳神経領域の病気に對する診療体制がさらに強化され、地域の皆さまに、より専門的かつ丁寧な医療を提供できる環境が整いました。

神経内科では、脳卒中、認知症、パーキンソン病、てんかん、頭痛、しびれ、ふらつき、けいれんなど、脳や神経に関わる多様な症状や病気を診療します。中

でも認知症とパーキンソン病は、高齢化に伴って増加しており、非常に身近な病気です。厚生労働省の推計によると、2025年に日本の認知症患者数は約700万人に達すると見込まれており、65歳以上の約5人に1人が認知症になると言われています。また、パーキンソン病の患者数も約20万人とされ、加齢とともにリスクが高まる病気のひとつです。これらは進行性の病気のため、早期発見と早期治療が重要です。



6月より神経内科に 新たな常勤医が着任

当院ではMRI（磁気共鳴画像）や脳血流SPECT（核医学検査）などの画像診断機器を活用し、脳の状態を客観的かつ詳細に評価することが可能である。たとえば、認知症が疑われる場合には、脳のどの部位が萎縮しているのか、血流が低下しているのかを画像で確認することで、アルツハイマー型認知症など、さまざまな認知症のタイプを診断する手助けになります。



食事、社会との交流が、発症リウマチを下げる効果が期待できるとされています。

しかし、「運動しましう」と言われても、何を、どれくらいすればよいかわからないという声を多く聞きます。当院では、医学的なデータやガイドラインに基づき、患者さん一人ひとりに合った運動や生活指導を行い、継続可能な予防プランを一緒に考えていきます。

ご家族の気づきも、早期発見のきっかけに

症状に気づくのは、ご本人ではなく、ご家族であることも多いため、ご家族からのご相談も大切にしています。ちょっとした物忘れ、歩き方の変化、表情の乏しきなど、日常の中で気になることがあれば、ぜひ早めにご相談ください。

地域の皆さまが、住み慣れた場所です安心して暮らせるように、明舞中央病院はこれからも脳神経内科の視点から、予防・診断・治療・生活支援まで一貫したサポートを提供してまいります。

身近な変化を
見逃さずに



下肢静脈瘤とは

下肢静脈瘤は、足の静脈にある逆流防止弁がうまく働かなくなり、血液が逆流して静脈が膨らむ病気です。高齢者や女性に多く、日本の成人女性の約4割に見られるといわれています。立ち仕事や遺伝などもリスク因子です。

症状と診断

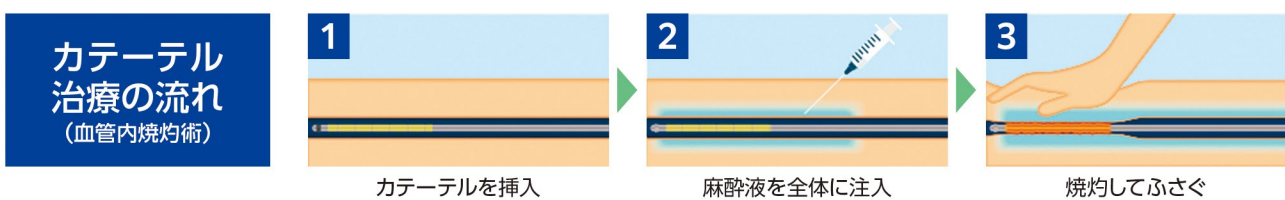
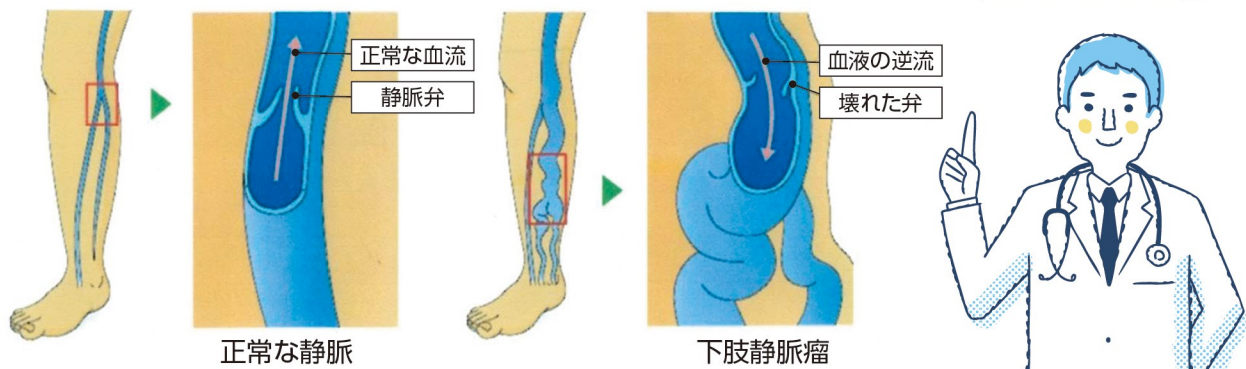
足のだるさ・むくみ・こむら返り・皮膚の色素沈着や湿疹など、症状はさまざま。進行すると皮膚潰瘍や血栓性静脈炎を起こすこともあります。超音波検査で静脈の状態を詳しく確認し、必要に応じてCTやMRIも行います。

足の血管トラブル、
放置していませんか？

治療法と 当院での取り組み

軽症の場合は、生活習慣の
見直しや弾性ストッキングで
の圧迫療法が基本です。逆流
が強い場合は、レーザーや高
周波を用いた血管内焼灼術
静脈腫グルー(接着剤)治療な
どを行います。当院ではこれ
らの治療を日帰りのまたは一泊
入院で実施し、術後も定期的
な検査でフォローします。

命に関わる病気ではありませんが、症状が進む前に適切な対応をすることが大切です。治療の必要性や方法は患者さん一人ひとりに合わせてご提案しますので、気になる症状があればお気軽にご相談ください。



特定医療法人 明仁会

特定区原法人 明仁会

 **明舞中央病院**



診療科目

内科・消化器内科・循環器内科・腎臓内科・呼吸器内科
糖尿病内科・外科・消化器外科・乳腺外科・整形外科
脳神経外科・リハビリテーション科・放射線科・神経内科
麻酔科（担当：平野 龍平）

TEL 078-917-2020 (代)

FAX 078-914-1877

URL <http://www.meijinkai.or.jp>



〒673-0862 兵庫県明石市松が丘4-1-32

駐車場の利用は「外来患者様のみ」

※当院の駐車場は台数に限りがございますので、公共交通機関
でのご来院にご協力をお願い致します。